

BEST AVAILABLE COPY

(54) FLOOR PANEL STRUCTURE OF TRUNK

(11) 4-191138 (A)

(43) 9.7.1992 (19) JP

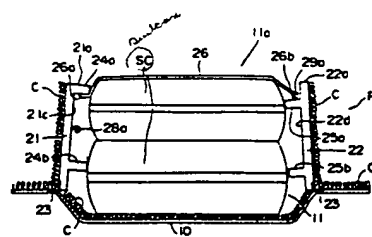
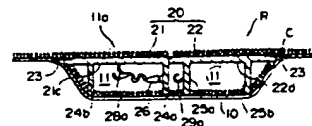
(21) Appl. No. 2-321821 (22) 26.11.1990

(71) NISSAN MOTOR CO LTD (72) AKIRA ISHIKAWA

(51) Int. Cl.⁵ B60R5/04, B60P7/08

PURPOSE: To improve the baggage loading capacity and to fix the loaded baggage securely by positioning a floor cover at both sides of the loaded baggage in the recess of a floor panel when it is opened, while making the surface of the floor panel in a single plane when the floor cover is closed.

CONSTITUTION: In the closed condition of a floor cover 20, the recess 11 of a floor panel 10 is closed and the surface of the floor panel 10 can be made in a single plane. And when the floor cover 20 is made in the opening condition, and a suitcase SC is loaded in the recess 11, for example, covers 21 and 22 are to be positioned almost vertically at the sides of the suitcase SC respectively. And the other end 26b of a rubber band 26 is extended to the cover 22 side to cover the upper side of the suitcase SC respectively, and fixed to a fixing hook 29a so as to hold the suitcase SC in the recess 11 by the tensile force of the rubber band 26. Consequently, not only the baggage loading capacity can be increased, but also the loaded baggage can be fixed securely.



THIS PAGE BLANK (USPTO)

(S) 311101-01 0111

⑩日本国特許庁(JP)に提出され、⑪特許出願公開

⑫公開特許公報(A) 平4-191138

⑬Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭公開 平成4年(1992)7月9日

B 60 R 5/04

Z 7149-3D

B 60 R 7/08

7140-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑮発明の名称 トランクルームのフロアパネル構造

⑯特 願 平2-321821

⑰出 願 平2(1990)11月26日

⑱発 明 者 石 川 明 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社 内

⑲出 願 人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑳代 理 人 弁理士 西脇 民雄

1. 発明の名称 トランクルームのフロアパネル構造

2. 特許請求の範囲

フロアパネルに荷物載置可能な凹所を形成し、

二分割されて、開時、前記凹所に載置した荷物の

両側方に位置すると共に、閉時、前記フロアパ

ネルの表面を面一とし、且つ、開時、前記荷物を

前記凹所上に保持する保持部材を裏面側に設けた

フロアカバーを、前記凹所に対して開閉可能に取り

付けたことを特徴とするトランクルームのフロ

アパネル構造。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、トランクルームのフロアパネル構

造に関する。

〔従来の技術〕

従来、トランクルーム内の荷物を固定するもの

として、以下に示すものが知られている。

第7図(a)に示す荷 保持装置1は、トランクル

ーム2の床面2aに、ネット3を張ったフレーム4を、

倒伏状態に付勢して設け、このフレーム4を付勢

力に抗して持ち上げて床面2aとネット3との間に

荷物を配置し、フレーム4の付勢力及びネット3の

張力により荷物を保持するものである(実開昭59-

66642号公報参照)。

また、第7図(b)に示す荷物固定装置5は、トラ

ンクルーム2の床面2aに起倒自在に設けた留め金

具6に、伸縮自在なネット7を取り付け、このネッ

ト7の弾性力により床面2aに載置した荷物Pの上面

を押さえて固定するものである(実開昭58-158736

号公報参照)。

ところで、荷物保持装置1においては、ネット3

を張ったフレーム4が、常時トランクルーム2内に

あるため、トランクルーム2の開口部に置いた荷

物を押して床面2aを移動させようとしても、ネッ

ト3を張ったフレーム4が邪魔になってスムーズに

積載できない。これは、荷 固定装置5において、

留め金具6にネット7を取り付けた状態にある場合

も同様である。

従って、床面2aは、ネット3を張ったフレーム4、
やネット7等の口部分を設けない平坦面であるこ
とが望ましい。

また、荷物保持部1により荷物を固定する際
は、常に、ネット3を張ったフレーム4を付勢力に
抗して持ち上げなければならず、労力な人にとっ
ては困難である。

〔発明が解決しようとする課題〕

一方、トランクルームの荷物収容能力を向上さ
せるために、第6図に示すように、例えばスツ
ケースの二段収容を可能とする凹所8を、トラン
クルーム2の床面2a中央部に形成したトランクル
ーム構造が考えられる。

このトランクルーム構造にあっては、床面2aが
平坦ではないために、スーツケースを収め込まな
い場合収めた荷物が安定しないばかりか、荷物を
収めしない場合見栄えが悪くなる。

このため、床面2aが平坦面となるように、設け
時床面2aと面一となる、床面2aと一体式のカバー
9を設けて凹所8を隠すことが考えられる。

閉時、前記凹所に収めた荷物の両側方に位置す
ると共に、閉時、前記フロアパネルの裏面を面一
とし、且つ、閉時、前記荷物を前記凹所上に保持
する保持部材を裏面に設けたフロアカバーを、
前記凹所に対して開閉可能に取り付けたことを特
徴としている。

〔作用〕

この発明に係るトランクルームのフロアカバー
構造により、フロアカバーは、開時、フロアパネ
ルに形成された凹所に収めた荷物の両側方に位
置すると共に、閉時、フロアパネルの裏面を面一
とする。また、開時、裏面に設けた保持部材に
より荷物が凹所上に保持される。

〔実施例〕

以下、この発明に係るトランクルームのフロア
カバー構造の実施例を、図面を参照しつつ説明
する。

第1図に示すトランクルームRのフロアパネル10
には、荷物を収めることができる凹所11が形成
されており、この凹所11は、フロアカバー20によ

り、しかしながら、カバー9により凹所8を隠す場合、
例えばスーツケースの収め込み時に外したカバー
9を保持するための凹所を必要とし、カバー9のた
めにかえって荷物収容能力が落ちてしまうという
問題点がある。

また、スーツケースを二段収容にした場合、カ
ー行走行時においてスーツケースが傾斜して
しまい、スーツケースとトランクルームパネル或
はスーツケース同士が衝突してしまうという問題
点もある。

この発明は、上記問題点に陥みてなされたもの
であり、その目的とするところは、荷物を収めな
い場合の見栄えを悪くすることなく荷物収容能
力を高めることができると共に、収めた荷物を
確実に固定することができるトランクルームのフ
ロアカバー構造を提供することにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するため、この発明に係るトラ
ンクルームのフロアカバー構造は、フロアパネル
に荷物収容可能な凹所を形成し、二分割されて、

り隠されている。また、第2図に示すように、フ
ロアパネル10の裏面には、全面に互ってカーベッ
トCが設け詰められている。

トランクルームRは、第5図に示すように、自動
車Aの後部に設けられており、フロアパネル10上
に荷物を収容することができる。

凹所11は、矩形の開口部11aを有すると共にト
ランクルームRの略中央に位置しており、フロア
パネル10の一段部より下方に押し出されて形成さ
れている。この凹所11は、例えばスーツケースSC
を二段収容にしてトランクルームR内に収容する(第4図参照)ことができる深さを有していると共に、
全面に互ってカーベットCが設け詰められている。

第1図に示すフロアカバー20は、同一形状を有
する長方形の二枚の板体により形成されたカバー
21,22からなり、二枚のカバー21,22の両長辺21a、
22aを当接させて平面上に並べ、同時に開口部11a
にはめ込むことにより、凹所11を隠すことができ
る。開口部11aにはめ込んだ両カバー21,22の、フ
ロアパネル10に接するそれぞれの長辺21b,22bは、

ヒンジ23を介して回動自在に凹所11縁部に取り付けられている。カバー22の長辺22aには、指掛けとしての切欠22cが設けられている。そして、二枚のカバー21,22をそれぞれ上方へと引き上げるにより、二枚のカバー21,22が水平状態にあるフロアカバー20の開状態(第1図参照)から、二枚のカバー21,22が略垂直状態にあるフロアカバー20の開状態(第3図参照)へと移動させることができる。

第2図、第3図に示すように、カバー21の裏面21cには、長辺21a側端部に位置する脚部24a、及び凹所11の底面周縁部に対応して位置する脚部24bが形成されている。カバー22の裏面22dには、長辺22a側端部から若干長辺22b側に位置する脚部25a、及び凹所11の底面周縁部に対応して位置する脚部25bが形成されている。これら各脚部24a,24b,25a,25bは、カバー21(カバー22)の長辺の長さと同一の長さを有していると共に、それぞれ凹所11の深さに対応する高さを有する板体から形成されており、フロアカバー20の開状態のとき、凹所11

なる。同時に、ゴムバンド26,27の他端26b,27bを、それぞれスーツケースSCの上部を覆うようにカバー22側に渡して係止フック29a,29bに係止させることで、ゴムバンド26,27の張力によりスーツケースSCを凹所11に保持することができる。

従って、ゴムバンド26,27は、スーツケースSC等の荷物を凹所11に保持する保持部材として機能する。なお、ゴムバンド26,27の代わりにネットを用いてもよい。この場合、ネットを各係止フック28a,(他方図示せず),29a,29bに係止させて、荷物を凹所11上に保持することができる。

次に、この実施例に係るトランクルームのフロアカバー構造の作用を説明する。

先ず、荷物を積載しない場合、或は荷物の積載に照して高さを必要としない場合、フロアカバー20を開状態にしておく。開状態にすることにより、凹所11が塞がれてフロアパネル10の表面は面一状態となる(第1図参照)。このとき、ゴムバンド26,27はカバー21の裏面21c側に収容されている(第2図参照)。

を塞いでフロアパネル10の表面を面一とすることができ、必要に応じて、凹所11の開口部から凹所11内に、脚部24aの長辺21b側の面には、離間して二箇所、ゴムバンド26,27のそれぞれの一端26a,27aが係止されており、カバー21の裏面21cの脚部24a,24bの間には、離間して二箇所に係止フック28a,(他方図示せず)が、また、カバー22の脚部25aの長辺22a側の面には、離間して二箇所に係止フック29a,29bが、それぞれ設けられている。そして、各係止フック28a,(他方図示せず),29a,29bには、ゴムバンド26,27のそれぞれの他端26b,27bに係止することができ、フロアカバー20の開状態のとき、他端26b,27bに係止フック28a,28bに係止させておくことにより、ゴムバンド26,27をカバー21の裏面21c側に収容することができる(第2図参照)。

このため、第4図に示すように、フロアカバー20を開状態にして、凹所11に、例えばスーツケースSCを載置した場合、カバー21,22はそれぞれスーツケースSCの側方に略直立して位置すること

このため、荷物を積載しない場合の見栄えを悪くすることがない。加えて、フロアパネル10の表面には何等障害となる物がなく、トランクルームRの開口部に置いた荷物を、容易に押して移動させることができる。

続いて、スーツケースSCの二段積み等、荷物の積載に照して高さを必要とする場合、フロアカバー20を開状態にしておく。開状態にすることにより、フロアパネル10の表面には凹所11が露出する。露出した凹所11にスーツケースSCを二段積み状態に載置する。そして、ゴムバンド26,27の他端26b,27bを、荷物の上部を覆うようにカバー22側に渡して係止フック29a,29bに係止させる(第4図参照)。

このため、カバー21,22が邪魔にならないばかりか、ゴムバンド26,27によりカバー21,22が荷物を側方から押さえるので、カーブ走行時等にトランクルームRに横GがかかってもスーツケースSCの横滑り等を阻止することができる。このカバー21,22による効果は、スーツケースSC以外の小さな荷物においても有効である。

なお、ゴムバンド26,27をネットにすると共にヒンジ23を着脱式にして、トランクルームRの最も外側にヒンジ装着部を設けることにより、フロアカバー20を更に有効に荷物押さえとして機能させることができる。

このように、カバー21,22を開くだけで、フロアパネル10に収納空間としての凹所11ができるので、例えばフロアパネル10の表面に設置されたネット内に押し込む必要はなく、荷物Pの載置を容易に行うことができる。また、カバー21,22を開く時は、ゴムバンド26,27を張った状態ではないので、開く力が小さくて済むことから、非力な人でも容易に開くことができる。

【発明の効果】

この発明に係るトランクルームのフロアカバー構造は、フロアパネルに荷物載置可能な凹所を形成し、二分割されて、開時、前記凹所に載置した荷物の両側方に位置すると共に、閉時、前記フロアパネルの表面を面一とし、且つ、開時、前記荷物を前記凹所上に保持する保持部材を裏面側に設

けたフロアカバーを、前記凹所に対して開閉可能に取り付けたため、荷物を積載しない場合の見栄えを悪くすることなく、荷物の積載能力を高めることができると共に、積載した荷物を確実に固定することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この発明に係るトランクルームのフロアカバー構造を示す部分説明図である。

第2図は、第1図のII-II線に沿う断面図である。

第3図は、フロアカバーの開状態を示す部分斜視図である。

第4図は、スーツケースを保持した状態を示す説明図である。

第5図は、トランクルームの斜視図である。

第6図は、床面と一体式のカバーにより凹所を塞ぐ構造を示す斜視図である。

第7図は、従来のトランクルーム構造を示しており、(a)は荷物保持装置を有するものの斜視図、(b)は他の荷物固定装置を有するものの斜視図である。

10…フロアパネル

11…凹所

20…フロアカバー

21c…裏面

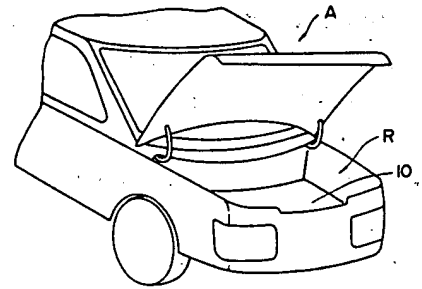
26,27…ゴムバンド(保持部材)

R…トランクルーム

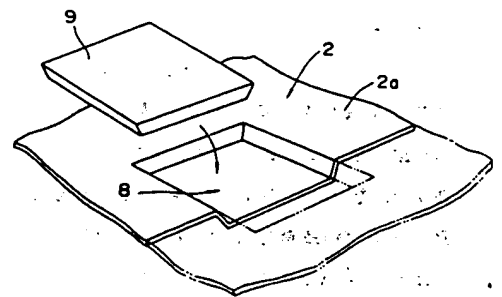
出願人 日産自動車株式会社

代理人 弁理士 西脇民雄

第 5 図



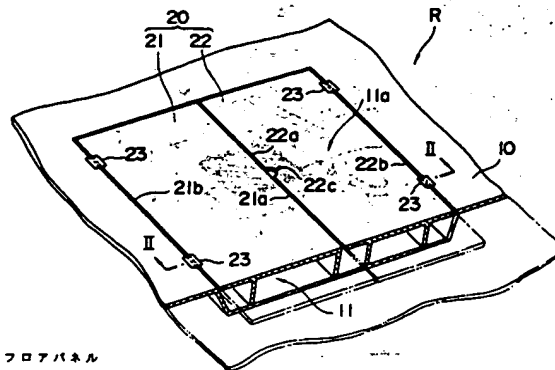
第 6 図



(P) 807101-8101

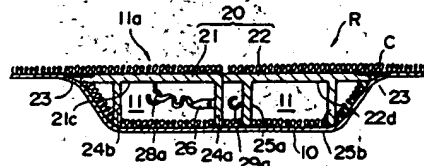
特開平4-191138 (5)

第 1 図



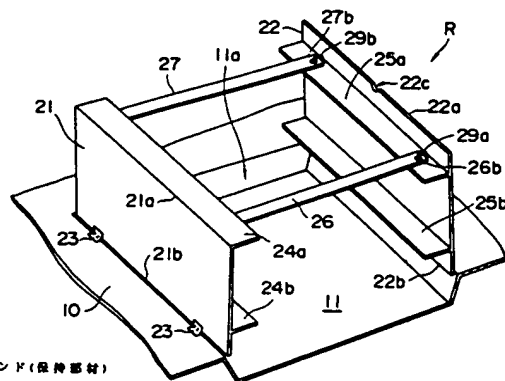
10…フロアパネル
11…凹所
20…フロアカバー
R…トランクルーム

第 2 図



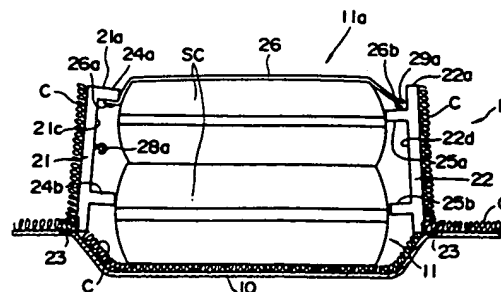
21c…裏面

第 3 図



26, 27…ゴムバンド(保持部材)

第 4 図



第 7 図

